

# 魅力 まるっと 北勢線

～阿下喜から西桑名まで～

2019年2月発行 北勢線の魅力を探る会



## ① 阿下喜駅転車台（ターンテーブル）

構内に埋もれていた転車台は、昭和6年に阿下喜駅まで延伸して間もない時期に造られたもので、「CARNEGIE1914」の刻印がある。材木を積んだ貨車を隣接する製材所へ移動する際の方向転換に使われていたようです。直径3m前後のものが主流だったようですがこの転車台は約5mと大型です。

## ② 洞門口 北勢線開通当時（大正5年）作られた（約30m）。

### ○事故現場

昭和32年11月25日朝の通勤通学ラッシュ時にカーブを曲がりきれず、下の田に転覆した。3人が亡くなっている。

## ③ めがね橋（明智川穹隆橋）・ねじり橋（六把野井水拱橋）

大正5年に北勢鉄道が楚原～阿下喜東（後の六石）まで延長された際に作られた橋。土木史研究委員会編『日本の近代土木遺産－現存する重要な土木構造物2000選』に選ばれ、「ねじり橋」はランクA、「めがね橋」はランクBに評価。

## ④ 北大社車庫

西桑名駅から昭和52年5月にこの地に移転。現在も車庫の中で車両検査や月検査が行われている。

コース 阿下喜駅・転車台 ⇒ 麻生田駅 → めがね橋・ねじり橋 → 楚原駅 ⇒ 東員駅 → 北大社車庫 → 東員駅 ⇒ 馬道駅 → 諸戸徳成邸・諸戸水道貯水池遺構 → 三崎踏切 → 西桑名駅解散

(⇒ 電車での移動 → 徒歩での移動)



## ○教願寺

真宗大谷派、本尊は阿弥陀如来。本堂は正面に向唐破風を付け、屋根に千鳥破風を据えた造りで、真宗本堂としては珍しい建物。太平洋戦争の供出を免れた天明6年（1786）銘の梵鐘は、三重郡河北村（現菰野町川北）の進士久右衛門が鐘楼と共に寄進したもの。

## ○芳ヶ崎のクロガネモチ

この株は雄株で、多数の枝を四方に張り、見事な傘状をした名木で、天皇八幡社の御神木として大切に保存されている。昭和41年11月22日市の天然記念物指定。

## ○善龍寺

浄土真宗本願寺派。元は法盛寺の寺中にあっただが、明治14（1881）年に移転してきた。

## ⑤諸戸徳成邸

現在の六華苑に住まいしていた二代目諸戸清六が、昭和3年に桑名中学校に入学した長男民和の通学の便を図るため建てた。

## ⑤諸戸水道貯水池遺構

明治37年に竣工した近代的な水道の貯水池で、諸戸清六が独力で完成した。

## ⑥三崎踏切

線路幅が1,435mmの標準軌（近鉄）、1,067mmの狭軌（JR）、762mmの特殊狭軌（ナロゲージ・北勢線）と3つの異なる線路幅がそろっている日本で唯一の踏切です。

